

こたえ つるのおんがえし

ひょうじゅん
標準 ①

つるのおんがえし

(日本のむかし話)

雪のふる日、まずしいわかものが、わなにかかったつるを見つけて、にがしてやりました。

その夜、うつくしいむすめがたずねてきて、わかもののおよめさんになりました。

ある日、むすめは言いました。

「はたをおります。でも、おっているところを、けっして見ないでください。」

むすめがおったぬのは、とてもうつくしく、高いねだんで売れました。

けれども、わかものは、どうしても気になって、へやをのぞいてしまいました。そこでは、一羽のつるが、自分の羽をぬいて、ぬのをおっていたのです。

1 わかものがわなからにがしてやったのは、何ですか。

ア さぎ

イ つる

ウ はと

2 むすめは、何をおりましたか。

ぬ
の

3 むすめが「見ないでください」と言ったのは、どうしてでしょう。

自分がつるだと知られたくなかったから。

4 へやの中のつるは、何をぬいていましたか。

自分の
羽